

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170501316		
法人名	社会福祉法人		
事業所名	愛全会 グループホーム てんとう虫の家		
所在地	札幌市南区川沿14条2丁目3番地23号		
自己評価作成日	平成30年9月1日	評価結果市町村受理日	平成30年11月9日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL [http://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou\\_detail\\_2017\\_02\\_2\\_kani=true&JigyosyoCd=0170501316-00&PrefCd=01&VersionCd=022](http://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2017_02_2_kani=true&JigyosyoCd=0170501316-00&PrefCd=01&VersionCd=022)

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

閑静な住宅街に立地しており、地域の方との暖かい交流を図らせて頂いております。ホームの理念であります、笑顔で毎日いきいきとお過ごし頂ける様、入居者様には毎日のお食事の下ごしらえから、味付け、盛り付けまでの家事を職員と一緒に頂いたり、お習字のお得意な方には、毎日のお品書きを筆ペンで書いて頂いています。お彼岸にはおはぎ作りを毎年恒例行事として皆様に、召し上がって頂いています。又地域の保育園児が、七夕や敬老の日はホームに来訪し可愛らしい遊戯を見せて下さいます。秋には保育園に、こちらから出向きお遊戯会見学をしています。お礼に入居者様が、心をこめてお作りになった、刺し子の布巾等を差し上げています。自然災害、防災対策については、皆様の安全をお守りするため力を入れています。万が一の為の非常食、飲み水の確保は勿論の事、バックアップ施設であります特別養護老人施設サングレイスも徒歩圏内に立地し協力体制が整っております。

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401		
訪問調査日	平成30年10月26日		

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

国道230号線のバス通りから少し奥に入った静かな住宅街に位置する事業所は1ユニットで18年目を迎えている。個人宅の様な設えの2階建て事業所内は、上品な装飾が施され、優雅で落ち着いた佇まいは、運営者の拘りが感じられる。リビングに設置されたアイランドキッチンを中心に職員と利用者の会話が弾み、食事に関する一連の作業も、利用者一人ひとりの持てる力を発揮し、得意分野で活躍頂く事で、日々の生きがいに繋がる様な支援に努め、利用者からは沢山の感謝の言葉を頂いている。又、ソングやメイクアップのボランティアに加えて、歌や演奏のボランティアの訪問は、利用者も笑顔にし、心豊かなものになっている。事業所近隣には運営母体の愛全会を始め、系列の特別養護老人ホームと介護老人保健施設が開設しており、医療連携体制の強化と共に、行事や災害対策でも協働関係を構築し、利用者、家族の安心に繋げている。利用者も夏祭りやオレンジカフェに出向き良好な交流を重ねている。運営法人の研修体制の整備により、スキルを磨く環境に恵まれている職員は、合同の会議や研修会で連携を図り、情報を共有し、知識や技術の習得に励む等、帰属意識を高めてケアに臨んでいる。職員間のコミュニケーションは良好で、理念はもとより、事業所独自で「寄り添いの原則」を提案し、抑圧感の無い、自分らしく生き生きと生きることの支援にチームで取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に根ざし、入居者様が笑顔でお過ごし頂ける毎日をご支援する理念を構築し、職員は日々のケアの中で理念の実践に努めております。	地域の中で利用者の笑顔と穏やかな暮らしの継続を謳い上げた理念を策定している。会議で理念を確認し、理念を反映した介護計画を作成する等、ケアの本質を理解し実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会主催の新年会に毎年参加させて頂いております。又散歩の際もご挨拶やお声がけをして下さる等地域の一員として交流させて頂いております。	利用者は町内会行事の新年会や事業所主催のシヤモ祭り等で、地域住民との交流を深めている。保育園との交流も続いており、相互の行事に招き、招かれている。実習生の受け入れや各種ボランティアの訪問も多く、利用者の暮らしに彩りを添えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等を通じて認知症についてお話をする機会を設け、理解を深めて頂く様努めております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議でホームからの事故報告や日々の暮らしぶり等ご報告しております。又地域の方や包括支援センターの方からの情報を頂きサービスの向上に役立てて行くよう努めております。	運営推進会議は定期的開催されている。事業所運営や利用者の状況、事故報告、災害対策など、様々な課題についてメンバーと意見を交換し情報の共有を図りながら、事業所の質の確保や地域の理解に繋げている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者は札幌市、南区の管理者会議に出席し担当者からの連絡事項を職員に伝えています又、毎月の利用状況を市の担当者にお伝えしております。	行政との連絡は主として統括本部の事業室で行っている。市や区の管理者会議や集団指導に参加し情報を得ている。介護認定更新時や運営推進会議参加の包括職員とは、事業所の実情を伝えながら相談や協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	カンファレンス時に身体拘束についての研修を定期的に行い知識を深めると共に毎朝申し送り時に身体拘束3用件を復唱し身体拘束の無いケアに取り組んでおります。	法人は身体拘束適正化による指針を作成、合同の委員会を設け3ヵ月毎に開催し、身体拘束廃止に向けて周知徹底を期し、職員は年2回の合同研修会とユニット毎の伝達研修にて共有を図り、理解を深めている。事業所で「寄り添いの原則」を提案し、抑圧感のない暮らしを支援している。センサーマット使用時は、家族に説明し、介護計画に反映している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の研修会に職員全員が出席し学んでいます。又カンファレンス時にも虐待について話し合い虐待の防止に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人を学ぶ研修会に参加し理解を深めると共に、成年後見人を立てた方の経験からその必要性、重要性を感じております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約時には十分なお説明を心がげご利用者様、ご家族様の疑問点等に真摯にお答えしご理解を得られる様努めております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の中で入居者様のご要望を聞き取る様に心掛けてると共にご家族様には毎年のアンケートや面会時での聞き取りを行い、運営に反映する様努めております。	家族の訪問時には、近況を伝えながらコミュニケーションを心がけている。年1度、法人本部が実施する家族アンケートで意見、要望を表せる機会を確保し、組織全体でサービスの改善に向けて取り組んでいる。毎月発行の「てんとう虫通信」には満載の写真と管理者からの一言が添えられ、利用者個々の暮らしぶりを伝えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年に2回職員面接を行い意見を聞くと共に日々の中で、エリアマネージャーや管理者が職員の話の聞き、提案や意見を反映する様心掛けております。	日常的に管理者、職員間のコミュニケーションはスムーズに行われ、現場での意見が反映され易い環境が整っている。人事考課制度の活用による個人面談や統括本部のエリアマネージャーも都度訪問し、意思疎通を図りながら職場の環境整備に活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回自己申告書を出す機会があります。その際個々の努力した点や職場環境整備の希望など述べる機会があります。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム全体研修を開催し職員を参加しております。又外部研修参加の機会もあります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者が札幌市、各区の管理者会議に出席した際他の事業所の取り組み等を交流を通して学ぶ機会があり他の職員へもユニットに持ち帰り伝達研修を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています	ご入居前からご本人様の希望やご不安等に耳を傾け新しい生活に少しずつ慣れて頂ける様又信頼関係を築けるように職員一同努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご契約の段階で、ご家族様のご希望やご不安に耳を傾け、ご不安な点は少しずつ解消出来る様時間をかけながら、信頼関係を築いていける様に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様のご希望などをお聞きしながら、必要に応じた他サービス利用をご提案させて頂ける様努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様には、食事の支度や庭の花植え等の活動を職員と一緒にして行って頂きながら暮らしを共にする関係を築ける様努めております		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の面会時には、自室でゆっくりとお話をして頂ける環境を整えております。又日々のご様子をお伝えしながら、ご本人様にとって今何が大切かをご家族様と一緒にご相談をする機会を持てる様努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様、知人の方のご面会時は大切な時間を居室でゆっくりとお話をして頂ける環境を整えております。	家族や友人の来訪時には居室で寛いで頂いている。大正琴の先生の発表会に出かけたり、教え子との手紙のやり取りなど支援している。法事や墓参り、外食、受診など家族の協力の下に支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同志のコミュニケーションが図りやすい様職員が間に入りお手伝いしております。又気の合う入居者様同志、お話し易い席に座って頂ける工夫もしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了した方へもその後のご相談やご支援が出来る様に努めております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々ご本人様やご家族様からのご意向を伺いながら、その時々のお思いの把握に努めております。又把握が難しい場合でもご本人様の立場に立ち意向を把握する様努めております。	本人、家族からの情報収集と共に、日常生活での言葉や行動、表情から、多面的視野で意向の理解に努めている。入居時に声を発する事が困難であったが、職員の寄り添いと丁寧な声掛けで言葉を発した事例からも、職員の思いを汲み取る姿勢が窺える。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族様より生活歴等をお聞きし、把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のご様子や都度の申し送り又アセスメントを用いその方の暮らしの現状の把握に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護支援専門員を中心とし職員全員がアセスメントをし介護計画を立てています。又カンファレンス時に都度話し合いを持ちながらご本人様に即した介護計画の作成に努めています。	利用者担当職員と介護支援専門員が中心となり、利用者、家族の要望を取り入れた暫定プランを作成し、カンファレンス時に職員間で意見討議し介護計画を作成している。1ヵ月毎にモニタリングと、3ヵ月毎の定期見直しが行われている。アセスメントは年2回見直されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様の個人記録にはケアプランに沿ったケアの記録の他に日々の変化等を出来るだけ詳細に記録し職員間で情報を共有しながらより良いケアの実践に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様、ご家族様のご希望などをお聞きしながら、必要に応じた他サービス利用をご提案させて頂ける様努め、柔軟なサービスのご支援に努めております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方にご協力頂きながら、お化粧講座、大正琴の演奏等豊かな暮らしのご支援を頂いております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療を希望される方には、医療機関とのご支援をしております。又ご本人ご家族様が安心して受診が継続できる様努めております。	殆どの利用者が運営法人である協力医療機関をかかりつけ医とし、月2回の往診を受けている。入居以前からのかかりつけ医や専門医への受診は家族対応である。皮膚科、歯科医は希望に応じて往診対応である。週1回の訪問看護で健康管理に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月に4回の訪問看護師の健康相談を受けています。状態や症状により受診への助言や掛かりつけ医への連絡調整も担って頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入、退院時は医療機関との連絡を取りながら状況の把握に努めております。又医療機関との関係作りにも努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご契約時に終末期に対するご要望をお聞きしています。又ご本人、ご家族様とも終末期、重度化した場合についてのご要望を面会時等にお聞きし、必要に応じて看取りの説明もさせて頂いております。	契約時に指針を基に重度化した場合の対応を説明し、同意を得ている。体調変化時はもとより、高齢化に伴い家族とは常に話し合いを持ち、運営法人の医療機関への移行も考慮し、利用者、家族が希望する終末期を支援している。看取りを見据えて、主治医とは24時間対応で、職員もターミナルケア研修を受け、体制整備に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急対応の研修を年1回行い初期対応の訓練を定期的に受けて実践力を身に付けられるよう努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の防災訓練時、職員全員が避難経路、方法などについて確認しております。又バックアップ施設が徒歩圏内にあり協力体制を築いております。	統括本部の防災担当職員(元消防署員)の指導の下に、年2回、地域住民の参加を得て、夜間想定避難訓練を実施している。更に、自然災害時の移動訓練をレクレーションに取り入れ、年2回実施している。災害用備蓄品の充実と系列施設との協力体制は強化されている。	災害対策には十分配慮し防災意識を高めているが、今回の胆振東部地震の経験を基に、地域ぐるみの災害対策強化を進める事を期待したい。運営推進会議を活用して地域住民の状況を把握しながら、連携を図り、相互協力体制の構築に努める事を期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩であり尊敬を持ちながらお話させて頂いております。又羞恥心等にも十分な配慮をしております。	利用者への言葉かけや対応は穏やかであり、名前は「さん」付けで呼びかけている。部屋のノックや入浴、トイレ介助では誇りやプライバシーに十分配慮して支援している。介護記録も個人が特定されない工夫が窺える。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で入居者様の思いや希望、自己決定をしやすい、環境作りと声かけに努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様御一人御一人の生活のペースにあわせご希望に添える生活をご支援させて頂く様つとめております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節感のあるおしゃれや外出の際のお化粧などご支援させて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お食事は栄養は勿論ですが、盛り付けや食べやすさにも配慮し対応しております。又入居者様と一緒に食事の準備後片付けなど無理の無い様、配慮しながら行っております。	日常の食事は、栄養バランスを考慮し、器や彩り、盛り付けに配慮し、食欲を高める工夫が成されている。週1度の自主メニューの日や誕生日、季節行事でも利用者の要望を取り入れ好物を用意したり、出前、ケータリング、外食も企画し、満足感のある食事となっている。お手伝いも力量に応じて行われている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が立てた栄養バランスのある食事を召し上げて頂いています。水分もお好みの物をお聞きしながら、毎日の水分量を確保して頂ける様に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアと共にご希望の方には歯科の訪問診療を受けて頂きながら、口腔内の清潔保持のご支援に努めております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者様それぞれの排泄パターンをアセスメントし必要に応じてトイレの声かけを行い排泄の支援に努めています。	職員は利用者の生活リズムを把握して声掛けを行い、トイレ排泄支援に取り組んでいる。殆どの利用者は自分の意思でトイレ排泄を行っている。入居時にリハビリパンツ使用であった利用者も下着に移行されるなど、下着着用者が殆どである。排便状況を把握し、便秘予防にも努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に応じて、主治医や訪問看護師の協力を得て便秘の予防に努めると共に、日々の食事や水分の工夫に努めております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴はその方の好みに合わせ湯加減を調節したり、お好みの香りの石鹸等ご利用頂ける様配慮しております。	毎日入浴が出来る体制を整え、週2回を目安に支援している。入浴剤や好みの石鹸、シャンプーの使用、湯加減の調整などに配慮してリラックス効果を高めている。浴室は床暖房で脱衣所にはパネルヒーターが設置され、ヒートショック防止に配慮されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、夜間とも快適に休息、安眠出来る環境やお声掛けに努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医、管理薬局との連携を図りながら、薬についての理解を深めると共に毎日の服薬支援に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様御一人御一人に合わせた、役割を持っていただくと共に、レクリエーションを通じて気分転換も図って頂ける様努めております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の入居者様のご希望を日々お聞きしながら、外出支援をしております。又ホームの全体でお花見や紅葉見学を恒例行事として出掛けております。又ご家族様との外出の際には必要に応じて車椅子をお貸しする等の対応をしております。	気候の良い時期は、散歩や玄関先のベンチで日光浴を楽しんでいる。桜見物や紅葉狩り等の季節行事も多く企画し、町内会行事や系列介護施設のオレンジカフェ、外食にも出かけ、気分転換を図っている。法事や墓参り等の個別の外出は家族の協力を得て支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様ともご相談をし、お買い物の時等ご自分のお金でお買い物をして頂くご支援をさせて頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様、知人の方からの電話やお手紙のやり取りの取次ぎやポスト迄お手紙を投函するご支援をさせて頂いております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた適切な室温、湿度管理に配慮しながら、季節感のあるお花や装飾を心がけています。又共用のトイレ、浴室等は特に清潔保持に努めております。	玄関から広がるリビングには3組の食卓テーブルと椅子が配置され、窓側にはアンティークな飾り家具やゆったりとしたソファが置かれている。アイランド形式のキッチンでは利用者も一緒に食事準備を手伝っている。吟味された壁紙や照明器具、壁面を飾る絵画や装飾品には、運営者の拘りが覗える。利用者は優雅な住空間で、編み物や書を嗜む等、快適に過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファやテーブル席をご用意し思い思いの場所で寛ぎ、お話を頂ける環境づくりに努めております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人ご家族様とご相談をして、なじみの家具や本、ご家族との写真を飾って頂く等居心地良くお過ごし頂ける様ご支援しております。	入口には表札が掛けられ、自室が認識され易い。居室内にはクローゼットが設置され、整理整頓が行き届いている。ベットや筆筒、椅子、テレビを配置して、大切な仏壇も持ち込まれている。日本人形や鎌倉掘りの時計に屑籠等、自作の物を周りに置き、その人の個性が引き立つ居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	階段やリビング内には適材適所に手すりを配置し安全に暮らして頂ける環境づくりに努めております。又各居室前にはネームプレートを設置しわかり易い工夫にも努めております。		